

## 留学報告書：2023年12月

花田美月

2021年度奨学生の花田美月です。UC Berkeley 数学科の博士課程に所属しています。この報告書では3年秋学期についてご報告いたします。

3年目ということで大学院生活もいよいよ折り返し地点に差し掛かろうとしています。今年の5月にあったqualを機に授業中心の生活から研究生活に切り替えたり、今学期からまた再びTAとして働くことになったりと仕事面での変化が重なり、また7月には二年間住んでいたアパートから引っ越し、学科の同期の友達とルームシェアを始めるなど私生活でも変化がありました。このようなことから今学期は新生活に慣れることを主な目標に過ごしてきました。

研究面においては、3月から続けている共同研究に加え、夏休み中に指導教官とのプロジェクトを始めました。私の指導教官は数学科にある自分のオフィスが嫌いなため、基本的にはカフェでミーティングをするので、この6ヶ月でバークレーにあるカフェは行き尽くしました。

また、私と同じ研究分野で、この二年間バークレーを離れていた教授が今学期戻ってきたので、セミナーやTAなどで関わる機会がたくさんありました。彼女はフランス人ということもあり、フランス人ならではのユーモアと毒舌でグループを盛り上げてくれました。また、身近に同じ分野の女性の教授がいなかったので、数学をやるにおいての女性ならではの悩みなど、貴重な話をたくさん聞くことができました。

先ほど述べたように7月に引っ越したのですが、洗濯機+食洗機備え付きの部屋で一気にQOLが爆上がりしました。バークレーのアパートの多くは洗濯するたびに現金(しかも小銭)で払わないといけないため、今までは銀行や友達から25セントコインをかき集めて毎回洗濯をしていたのですが、今は洗濯したい時に何も考えず洗濯できる幸せを噛み締めています。歩いてすぐのところにキャンパス行きのバスの停留所があり、近くに友達がたくさん住んでいたり、色々な意味で便利になりました。

また、今まで事あるごとに友達に運転してもらっていたのですが、今後アメリカで生きていくためには免許を取らなきゃ！と思い、qual直後に中国人の友達とpermitを手にいれにDMVIに行きました。実は人生で一度も車の運転席に座ったことなかったので、本当に一からのスタートだったのですが、優しい同居人が手取り足取り教えてくれています。permitの有効期限は一年しかないので、春学期の終わりまでには免許を取得する(予定です)。

最後になりましたが、さまざまな形でご支援をしてくださっている船井情報科学振興財団の皆様にも心より感謝申し上げます。